

あした 未来へつなぐ

[CS]



ひとりでも多くの人の役に立つために、この北海道で地域と人のために私たちができること。JR北海道グループは、いま真摯に向き合います。「未来(あした)へつなぐ」ために。

文＝本間 吾里砂

車内を巡回し、お客さまに協力を呼びかける「乗車マナー添乗」を中心に、乗車マナー向上のための啓発活動を展開

J

R北海道では、「列車内で迷惑に感じている行為」に対し、お客さまの

声が特に多かったものについて、改善を図るための取り組みに力を入れています。

その一つが、平成十一年より年二回実施している『乗車マナー添乗』です。

例年、お客さまの声が集中するのは、「荷物による座

席の占有」「大声での会話」

「携帯電話による通話」

「ヘッドホンステレオの音漏れ」「床への座り込み」の五

つ。それに加え、今年度は

「リュックサックを背負った

ままの乗車」への声も増加。

それを受け、五月上旬に行

われた乗車マナー添乗で

は、リュックサックは荷棚に

置くか、手に持つよう、お客



乗車マナー向上を呼びかけるポスターは、3ヵ月毎に違ったテーマのものを掲示。「リュックサックを背負ったままの乗車」をテーマにしたポスターが、今年初登場しました。9月まで駅構内に掲出しています。

添乗については、今年も警察、学校関係者らとともに、朝と夕方の時間帯に実施。ちなみに札幌圏は、小樽、札幌、美唄、札幌、千歳、札幌、石狩当別、苫小牧、岩見沢

と、通勤通学で列車を利用するお客さまの多い区間が対象となりました。また、車内放送や駅の構内放送を通じて、乗車マナーについての啓発活動も併せて展開。放送は、新しく列車通学を始めた新入学生に向け、入学式直後の四月上旬にも実施しました。



北海道クリーン・システム(株)の警備員による乗車マナー添乗も月1回程度実施しています。

さまへ協力を呼びかけました。また、乗車マナー向上に向けて七月から三ヵ月間、車内ではリュックサックを背中や肩から下ろすようアピールする内容のポスターを駅構内に掲示しています。

平成二十二年からは、グループ会社「北海道クリーン・システム株式会社」の協力のもと、同社の警備員による乗車マナー添乗を実施。現在、札幌圏と旭川圏において、月一回程度のペースで取り組んでいます。